

ふるさと歴史散歩 65

～松前史談会レポート～

三津“松前町”を訪ねるII

加藤嘉明が松前城から松山城へ移ったのは、慶長8(1603)年。この時、水軍の拠点としたのが三津の繁栄の始まりである。明治以降、三津は町名変更と合併を繰り返し、北松前町・南松前町などの古い町名は地図上なくなったが、住民の生活の中には生き続けている。新町横丁や稲荷新地は町外のオールドボーイにも懐かしいという。

現在の大規模な施設は、お茶屋・船奉行所・町奉行所などの跡地である。新浜塩田跡地は、競馬場になった歴史もあるが、広大な住宅地になっている。小丸山の塩神社、塩田に塩水の引き込みをした遺構もある。女子師範学校があったことも忘れてはならない。

昭和15(1940)年に松山市と合併するまでは三津浜町として独自の発展をとげ、戦災を免れた街並みは、当時の繁栄とロマンを感じさせる。大きな蔵付の醤油屋や大屋根の船具商、緑青のふいた銅版を軒壁一面に張った商家、一畳もありそうな一枚石を腰板にした元銀行、当時は珍しい大理石造りの船会社のビルなど贅を尽くした建物が、今も使用されている。

句碑や“きせんのりば”の石碑などのある小公園も数多いが、平成船手組に教えてもらわないと通り過ぎた場所もあった。明治44(1911)年、“道後六角堂”と“三津江の口”間に松山電気軌道会社が開通し伊予鉄道と激しい競争がおきたが、その終点跡地である。まだまだ見たりぬ街である。

1 軒壁の銅版の緑青が美しい。2階は資料室(公開)。



2 大原其戒居宅跡碑のある公園。



10月のふるさと歴史散歩は休みます。

松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



はんぎり競漕で3位入賞

山田 駿介 くん 松前小5年・南黒田
Yamada Syunsuke

松前小学校5年生の山田駿介くん。8月7日に行われたまさき町夏祭りのはんぎり競漕男子の部で、3位に入賞した男の子です。

はんぎりに出場できるのは各学校11人。松前小学校では、希望者を募って数日練習をした後記録の上位11人が選手となります。「水泳が得意だから、はんぎりも得意な気がして希望しました」と話す駿介くん。コツをつかむのが難しいはんぎりですが、駿介くんの思い通り、最初から上手く進むことができたと言います。けれど選手に選ばれてからはタイムが伸び悩んだことも。「彼のすごいところは、スランプになってもあきらめずに一生懸命練習したこと」と先生は話します。「あきらめたら全部終わってしまうから。あきらめないことが大事だと思います」と駿介くん。

本番では、予選で1位となって決勝へ。「友達と一緒に練習を頑張ってきたけど、大会では勝ちたかった。決勝は他の学校の選手が強かったけど頑張りました。3位になれてうれしかったです」とまぶしい笑顔で話してくれました。



1歳です。よろしくね



いなだ そうた
稲田 創太 くん

西古泉
平成21年10月23日生
(父) 宏さん
(母) 小百合さん

何でも手に持ちフリフリ! 部屋中ハイハイお掃除上手!?



みやき りくと
宮木 陸翔 くん

宗意原
平成21年10月4日生
(父) 鉄平さん
(母) 希恵さん

誕生日おめでとう♡元気にすくすく育ててね!!



ひょうどう とわ
兵頭 橙和 ちゃん

筒井
平成21年10月2日生
(父) 和也さん
(母) 美恵さん

いつも笑顔で元気に育ててね。

たちばな
橘 みりあ ちゃん

恵久美
平成21年10月31日生
(父) 正登さん
(母) 礼美さん

生まれてくれてありがとう♡あなたの笑顔が元気の源!!



きのした ゆうと
木下 結斗 くん

北川原
平成21年10月9日生
(父) 幸治さん
(母) 早紀さん

1歳おめでとう! お兄ちゃんとたくさん遊んでね。



12月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可)を持参してください。
*先着6人です。

募集期間 10月1日(金)～10月15日(金)

総務課広報情報係 ☎ 985-4132

おうちで給食



ごま味いりこ



●材料● (4人分)

小煮干し……………20g
いりごま……………小さじ1
青のり……………小さじ1
砂糖……………小さじ1
濃い口しょうゆ……………少々
みりん……………少々

●作り方●

- 1 いりごまと小煮干しをフライパンでから炒りする。
- 2 調味料を加え、最後に青のりをふりかける。

Point

- 子どものおやつにも最適です。
- 給食では、松前産の小煮干しを使用しています。
- ご家庭でも地産地消を推進しましょう。